

S01 地球史・人類史の年代測定

Zoom 企画プログラム(2020/10/28版 ver.01)

コンビーナ(Zoom 企画当日の座長も担当):

日高 洋(名大)、堀江憲路(極地研)、今山武志(岡山理科大)、南 雅代(名大)、國分陽子(原研東濃)

企画内容

口頭発表(発表12分 + 質疑応答3分)

各自のアップロード発表資料の内容を口頭で発表します。アップロード発表資料に含まれていないデータなどを加えて議論することもできます。

<2020年11月19日(木) 午前>
9時05分~12時00分 @D会場

開始時刻	発表者	発表タイトル	発表番号	発表形式
09:05	コンビーナ	セッション趣旨説明		
09:10	板野 敬太 (金沢大学)	モナザイトの U-Pb 年代・Nd 同位体・微量元素同時分析法の開発と今後の展望	PR0134	口頭発表
09:25	吉屋 一美 (東京大学)	北アメリカ大陸主要河川の川砂モナザイトの U-Pb 年代・Nd 同位体・微量元素組成	PR0158	口頭発表
09:40	仁木 創太 (東京大学)	高速多点フェムト秒レーザーアブレーション質量分析法を用いた高精度ウラン-トリウム-鉛年代測定法	PR0186	口頭発表 ^{*1}
09:55		休憩		
10:05	志村 侑亮 (名古屋大学)	紀伊半島中央部に分布する三波川変成岩類および四十万十付加体の構造発達史: 野外調査およびジルコン U-Pb 年代からのアプローチ	PR0175	口頭発表 ^{*1}
10:20	福山 繭子 (秋田大学)	方解石 U-Pb 年代測定法のための標準試料	PR0209	口頭発表
10:35	堀江 憲路 (国立極地研)	高感度高分解能イオンマイクロプローブを用いた年代学の展望	PR0177	口頭発表
10:50	竹原 真美 (国立極地研)	リチウムに富むジルコンの地球化学: 東南極ナピア岩体, ハーベイヌナタークの例	PR0143	口頭発表
11:05		休憩		
11:15	今山 武志 (岡山理科大学)	隠岐片麻岩の複数変成作用と起源	PR0035	口頭発表
11:30	加藤 文典 (名古屋大学)	電子プローブマイクロアナライザー(EPMA)を用いた新生代の CHIME 年代測定の要素技術: 不感時間補正	PR0101	口頭発表
11:45	岩田 尚能 (山形大学)	葛根田花崗岩深部調査井試料の ^{40}Ar - ^{39}Ar 年代測定	PR0102	口頭発表

^{*1} 学生の発表です。

アップロード資料での発表

発表者	発表タイトル	発表番号	発表形式
ゴリポール ソ マイエ (シャヒドベヘシ ユティ大学)	Geochemistry and geodynamic of the Early Cretaceous granitoid, northern Sanadaj-Sirjan Zone, NW Iran	PR0260	スライド資料
浅原 良浩 (名古屋大学)	Sr 同位体比による炭酸塩コンクリーションの年代決定	PR0130	スライド資料
南 雅代 (名古屋大学)	大阪府松原市立部遺跡出土蔵骨器に納められた火 葬骨の化学分析	PR0138	スライド資料

本年会の発表のメインは、年会ウェブサイトへアップロードした資料(静止画 PDF または動画 MP4)についてテキストで質疑応答する形式です。期間は 11/12(木)~26(木)です。ZOOM 口頭発表の有無に関わらず、アップロード資料での議論は必須です。活発なご議論をお願いいたします。